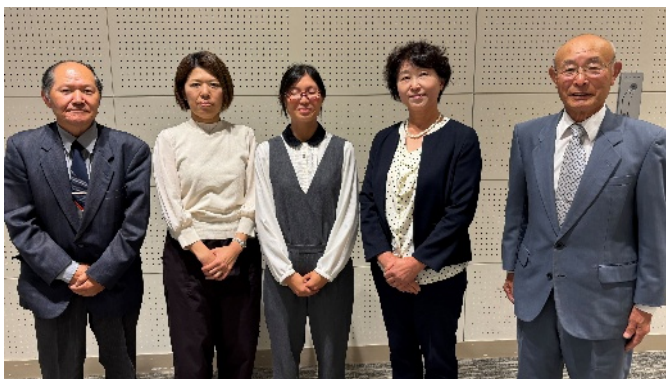


# 三次市土地改良区 (広島県)

“3人寄れば、文殊の知恵”  
経営形態が異なる女性農業者達が、世代を超えて同時に理事に就任



左から  
山口副理事長、角一理事、橋本理事、大前理事、箕田理事長

## 組織の概要

面積 : 5,787 ha  
組合員 : 8,382 人  
理事 : 28 人 (うち女性員外3人)  
監事 : 3 人 (うち女性0人)  
職員 : 5 人 (うち女性3人)

通常の理事 : 18選挙区より立候補者を受付  
登用方法

## 登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

令和6年5月31日 定款変更(定数増、員外規定)  
3月19日 総代会にて選任  
5月31日 理事就任  
(任期 : 令和7年3月8日)

### おおまえすみ 大前万寿美 理事



**経歴**  
2003年より専従者として農業の道へ、2007年いちご栽培を開始、2016年より農業委員に現在に至る。大前農園代表

**理事になって思うこと**  
(男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)  
土地改良区の仕事内容を知ることから始めたい。  
自分の経験が、土地改良区の業務運営に活かせるよう、農業委員会との橋渡しができればと考えています。

**女性理事登用を進めるための秘訣**  
(女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス)  
広島県三次市の北部、山林が9割の町で農園を営んでいます。どんな集落にも働く女性農業者が存在しているものです。

### 大前さんが理事を引き受けるまで



事務局

※どのように説得したか。  
農業委員としての経験や実績をぜひ活かしてほしいとお願いした。



大前理事

※引き受けた決め手。  
農業委員会ウーマンネット広島での活動を通じ、女性参画の必要性については共感するため。

### はしもとおおい 橋本葵 理事



**経歴**  
2018年に移住し、合同会社井田川ファーム橋本で和牛繁殖農家の事務経理を担いながら、子育てをしています。

**理事になって思うこと**  
(男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)  
今の地域や農業を支えてこられた先代世代の皆様から学び、若者としてその想いを守るため、今後何ができるかを考えていきたいです。

**女性理事登用を進めるための秘訣**  
(女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス)  
移住後、農閑期に農産物加工所で行う協働作業に携わったことで、地域は皆で支え合って暮らしているのだと実感することができました。

### 橋本さんが理事を引き受けるまで



事務局

※どのように説得したか。  
組合員である義父の理解と併せて夫の協力が得られるよう説得した。



橋本理事

※引き受けた決め手。  
地域の一人として、また百姓として幅広く何でも出来るようになりたいので引受けました。

### みのだひでき 箕田英紀 理事長より

※女性理事登用を進めた動機やきっかけ。女性理事への期待。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。  
いちご栽培農家、大規模農家、和牛繁殖農家とそれぞれ異なる農業を営んでおられます。お互いの仕事の違いを認め、情報を共有されることが大切だと思います。  
農地、農業水利施設は食糧の生産を支える大切な財産です。  
女性の豊かな感性と多様な能力を十分に発揮し、土地改良事業に新風が巻き起こることを期待しています。

# 三次市土地改良区（広島県）

“3人寄れば、文殊の知恵”  
経営形態が異なる女性農業者達が、世代を超えて同時に理事に就任



左から  
山口副理事長、角一理事、橋本理事、大前理事、箕田理事長

## 組織の概要

面積：5,787 ha  
組合員：8,382 人  
理事：28 人（うち女性員外3人）  
監事：3 人（うち女性0人）  
職員：5 人（うち女性3人）

通常の理事：18選挙区より立候補者を受付  
登用方法

## 登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

令和6年5月31日 定款変更(定数増、員外規定)  
3月19日 総代会にて選任  
5月31日 理事就任  
(任期：令和7年3月8日)

### かくいちゆきこ 角一由妃子 理事



#### 経歴

短大卒業後、5年間の会社員を経て、2001年結婚後就農し、子育てをしながら現在に至る。

理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

食料自給率を上げるために貢献したい。  
これまでと同様に耕作放棄地をなくすよう努めていきたい。

#### 女性理事登用を進めるための秘訣

（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

役員の方々の本気度が伝わり、熱意を持って話せば、女性農業者の心に必ず届きます。

## 角一さんが理事を引き受けるまで



事務局

※どのように説得したか。

地域で古くから土地改良区の役員をしている方が、中心となり説得した。



角一理事

※引き受けた決め手。

日頃から何かとお世話になっている理事の方をお願いされたので。

やまぐちかつのり

### 山口勝則 副理事長より

※登用によって土地改良区に生じた変化。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

私が農業委員をしていた関係もあり、三次地区の担い手の中では大型農家と認識しており、3人が活躍していることは以前から承知していた。

それぞれの家族(組合員)も顔見知りで、役員として申し分のない方々であったのでお願いした。

農村を支える新たな動きや活力の創出に向け、  
“ともに歩む”女性農業者が2024年理事に就任

# 東広島市土地改良区（広島県）



左から  
竹信事務局員、仲伏理事長、古川理事、光永事務局長

## 組織の概要

面積：2,013 ha  
組合員：1,744 人  
理事：12 人（うち女性員外1人）  
監事：3 人（うち女性0人）  
職員：3 人（うち女性2人）

通常の理事：3地区から4人の候補者を選出  
登用方法

## 登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

令和5年11月11日 定款変更(定数増、員外規定)  
令和6年6月12日 総代による選挙にて選任  
令和6年6月19日 理事就任  
(任期：令和9年5月21日)

## ふるかわ 古川みどり 理事



### 経歴

平成21年から東広島市の農業委員として、そして平成27年から3年間農地利用最適化推進委員として農業振興に尽力。  
農業委員会女性部長を務めるとともに「農業委員会ウーマンネット広島」の理事として活動中

### 理事になって思うこと

(男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)  
まずは、外からでは見えなかった土地改良区の仕事内容を勉強したい。  
先人達の苦楽の下に完成した“ほ場整備事業”のおかげで、小さかった田が大きくなり、水管理の効率化が図られ、今こうして農業が続けてこれたと感じています。  
農業委員としての自分の経験が土地改良区の運営に活かしていければと思います。

### 女性理事登用を進めるための秘訣(女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス)

これがと言えるアドバイスはありませんが、農業に従事している女性はどこの地域にも必ず存在しています。土地改良区の役職員が“女性の理事登用は我が土地改良区にとって必要”とする共通の認識を持って身近な方から声かけをされてはいかがでしょうか

## 古川さんが理事を引き受けるまで



事務局

### ※どのように説得したか。

かねてから、農業委員会での活躍ぶりを知っていました。  
「この人なら」と考え役員と一丸となってお願ひしたところ快く引き受けていただきました。



古川理事

### ※引き受けた決め手。

理事長とは同郷ということもあり、元々顔見知りでした。  
同じ農業委員という縁もあり特に不安もなく受ける気になりました。

なかぶしひでお

## 仲伏英雄 理事長より

※女性理事登用を進めた動機やきっかけ。女性理事への期待。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

一昨年の男女共同参画に関する研修会で、他の土地改良区の理事や女性職員との意見交換会を通して多様な意見に触れる貴重な機会を得た。

その時、土地改良区の運営に男女の区別はもはやないと強く意識した。

たけのぶかずえ

## 竹信和江 事務局員より

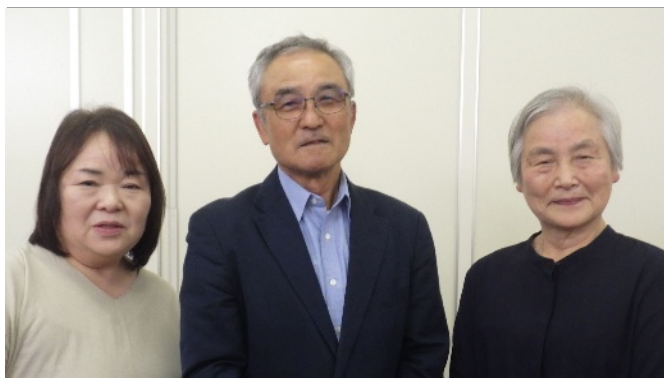
※登用によって土地改良区に生じた変化。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

農業を外から見たイメージは、まさに男性社会と思われがちですが実際には家族で営んでおられ、既に女性の協力が無ければ成り立たないと思っています。

女性役員ならではの視点で目に見える形になれば良いと期待します。

ぎおんちようほかにかちよう  
**広島市祇園町外二ヶ町土地改良区（広島県）**

江戸時代中期から、250年以上にわたって水を送り続け  
 今もなお人々に恵みをもたらす八木用水  
 見つめつづける女性の総代が、令和5年理事に就任



左) 猪垣事務長 中) 島本理事長 右) 梶岡理事

かじおかようこ  
**梶岡洋子 理事**



**経歴**

銀行勤務を経て、平成8年から民生委員・児童委員、保護司として10年間活動  
 平成15年2月に当土地改良区の総代に就任  
 令和2年から地元寺院の仏教婦人会会長

**理事になって思うこと**

(男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)  
 総代時代は選出地域の事しか見えてなく、会議での施設名称が全く理解できませんでした。  
 そこで、見て知ることから始めようと思い、時間を見つけては主人と施設めぐりを重ね、何とか施設の場所と名称（取水堰、サイフォン、分水ゲート等）が一致するようにはなりました。  
 西日本豪雨災害の影響もあり、小学生の登下校の時間帯になると、水量が気になる今日です。

**女性理事登用を進めるための秘訣**(女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス)

現在、野菜のハウス栽培を中心に営んでいますが、かつては水稻も作っていて義母の代より土地改良区には関わってまいりました。八木用水の歴史を知りより一層この水路について考えるようになりました。  
 女性農業者から総代を募り、施設や土地改良区への関心を深めることから始められてはどうでしょうか。

**組織の概要**

面積： 10.8 ha  
 組合員： 168 人  
 理事： 12 人（うち女性員内1人）  
 監事： 3 人（うち女性0人）  
 職員： 1 人（うち女性1人）

通常の仕事： 3選任区から33人の総代より候補者を  
 登用方法 選出

**梶岡さんが理事を引き受けるまで**



事務局

**※どのように説得したか。**

総代としての実績があり、理事長と副理事長がこの方以外に無いと考え、先代（父）もやっていた仕事であると説得に当たった。



梶岡理事

**※引き受けた決め手。**

一度は固辞をしました。先代の事もあったのですが、最後は家族にも勧められたため決心しました。

**登用までの流れ**

選挙制 ・ 選任制

令和4年12月13日 役員会で候補者に推薦  
 令和5年2月24日 総代会にて選任  
 3月5日 理事就任  
 (任期：令和9年3月4日)

しまもとけいじ  
**島本啓司 理事長より**

※女性理事登用を進めた動機やきっかけ。女性理事への期待。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

彼女のたおやかな雰囲気もあって理事会が変わってきたと感じている。

本人が非常に勉強熱心なこともあります。会議資料について、より解りやすくするため地図や写真を付けたり工夫しています。

このことで女性に限らず男性新人役員、総代にとっても、良い影響が出ています。

いがき  
**猪垣ふみよ 事務長より**  
 (ひろしま水土里ネット女性の会 会長)

※登用によって土地改良区に生じた変化。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

女性理事登用について、頭から否定しては、決して前に進まないと思います。

頑張っている女性は沢山いるので、土地改良区の新しい風となっただけのように、説得していただきたいと思っています。

農業従事者が減少する中で、このタイミングを逃さずに、土地改良区をこれからも前進させていけたらと思います。

# 原山土地改良区 (広島県)

新規就農のため、霞が関から地方に移住してきた  
女性酪農家が子育てをしながら令和5年理事に就任



左から  
佐々田事務局長、小脇理事長、田島理事、丸原理事、泉事務局員

## 組織の概要

面積： 44ha  
組合員： 21人  
理事： 7人 (うち女性員内1人)  
監事： 2人 (うち女性0人)  
職員： 2人 (うち女性1人)

通常の理事： 1選任区から推薦会議において候補者  
登用方法： 選出

## 登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

令和5年3月26日 総会にて選任  
4月1日 理事就任  
(任期：令和9年3月31日)

## たしま 田島あゆみ 理事



### 経歴

農林水産省勤務から酪農  
家に転身 (2017)  
事業継承により田島牧場  
を創業 (2019)  
酪農協同組合理事  
(株)Rev O マネージャー

### 理事になって思うこと

(男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)  
理事に就任後、土地改良区だけでなく、酪農  
協同組合の会議に参加するなかで、土地改良区  
のことを意識することで、それぞれの背景や内  
部事情がわかるようになりました。  
そのことで、運営について納得がいく場面が  
ふえたので、理事になってよかったと思います。

### 女性理事登用を進めるための秘訣(女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス)

どこの組織にも女性がいた方が良いと思っているし、組織にも女性がいることは当たり前だと思います。  
それぞれの地域には、男性も女性もいるので、男性女性関係なく理事になればよいと思います。

## 田島さんが理事を引き受けるまで



事務局

### ※どのように説得したか。

県から土地改良区への働きかけ  
があったので、理事が声掛けした  
ところ快く引き受けて頂いた。



田島理事

### ※引き受けた決め手。

平成31年に田島牧場を立ち上げてから、原山  
地区でのつながりもあり、理事になることに抵抗  
はなく受諾しました。

## こわきよし 小脇清志 理事長より

※女性理事登用を進めた動機やきっかけ。女性理事への期待。  
これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

最初、元農林水産省出身の女性が酪農をするため  
に原山地区に移住されると聞いた時、一体どのよう  
な方なのかと戸惑いがありました。

今では、気さくで高ぶらない性格に加え行動力を持  
ち合わせた女性であると認めています。

自身が関わるメタンガス削減の取組についても、  
環境貢献・農家の収益増となるよう大いに期待して  
います。

## まるはらよういち 丸原洋一 理事より

※登用によって土地改良区に生じた変化。これから進めようとする  
土地改良区へのアドバイス。

理事会や総会の雰囲気とそのあり様が変わってきた  
と感じています。

田島さんが理事になる以前は、皆仲間うちで会議も通  
り一偏のものでしかなく、どんよりとした空気が漂って  
いました。

現在は、事務的なことはさっさと済ませ、会議の後に  
食事会と兼ねて話し合う時間が一番の楽しみとなって  
います。